

三井住友FL、不動産運用会社ケネディクスを完全子会社化

2025/10/02 18:00 日本経済新聞電子版 316文字

三井住友ファイナンス&リース（FL）は2日、不動産運用会社のケネディクスを完全子会社化したと発表した。2021年に7割を取得し、今回は香港系の物流不動産大手ESRグループの傘下子会社が保有していた3割を取得した。完全子会社化で経営の自由度を高め、不動産領域の事業拡大と収益の取り込みを図る。

三井住友FL傘下のSMFLみらいパートナーズとその子会社を通じて追加取得した。金額は公開していない。

三井住友FLは21年、傘下のSMFLみらいパートナーズを通じてTOB（株式公開買い付け）で連結子会社化していた。ケネディクスは4兆6000億円超の受託資産残高を持ち、不動産セキュリティトークンや賃貸住宅ブランド「コレット」事業を手掛けている。



三井住友ファイナンス&リースはケネディクスを完全子会社化した

許諾番号30105674 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.